

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		行政評価システム構築事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也	
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	企画財政課	担当者名	上村 祐一郎	
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進			所属班	政策企画班	(内線)	1243	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input checked="" type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	—
		1	2	1	10	11034			コスト削減優先度評価結果	—
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (		H18 ~ H20 年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】①総合計画と連動した行政評価システムの構築を行うため、平成18年度から20年度の3か年をかけて実施する事業。②施策評価と、事務事業評価の二つのシステムの構築作業を行う。										
【業務の流れ】①業務委託契約事務。②行政評価システム導入スケジュールの作成、庁議での承認。③システム導入に伴う先進地等職員研修企画事務。④庁内推進体制の構築事務(政策推進本部及び作業部会「行政経営推進部会、行政経営検討部会、行政経営検討推進グループ、行政経営運営部会」の設置)。⑤階層別職員研修・議員研修企画、実施。⑥政策推進本部を中心とした、施策評価の組み立てに係る研修と構築作業の企画、実施。⑦課長補佐級以下の職員を中心とした、事務事業評価の組み立てに係る研修と構築作業の企画、実施。										
【主な予算費目】委託料										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ①施策・事務事業貢献度評価研修及び作業(職員及び議会議員、総合政策審議会委員)並びに点検指導会 ②新規・拡充事務事業企画研修及び点検指導会 ③施策優先度評価と予算の施策枠配分、次年度経営方針策定に向けた研修及び作業。 ④事務事業優先度評価研修及び作業	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度で事務事業を終了し、21年度から総合計画進行管理事業へ移行
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 行政職員 市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 人 ア 研修及び構築作業開催回数 件 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市が取り組んでいる事業の内容がわかる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 ア 職員数 人 → イ 人口 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 施策・事業の推進が計画的に実施されている	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % ア 市が取り組んでいる事業の内容がわかると答えた、職員の割合 % → イ 行政評価システムに関するホームページアクセス件数 件 ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % ア 施策目標を達成した施策の成果指標の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画		
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	H18	H20	
事業費	国庫支出金	千円			8,053	8,000					8,000
	都道府県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	繰入金	千円									
	一般財源	千円	452		421	426					878
	(A)事業費計	千円	452	0	8,474	8,426	0	0	0		8,878
	うち指定経費	千円			0						
	うち時間外、特殊勤務手当	千円			0						
	人件費	人	330		300	180					510
正規職員従事人数	時間	8,465		4,500	6,104					14,569	
延べ業務時間	千円	33,606	0	17,910	24,294	0	0	0		57,985	
(B)人件費計	千円	34,058	0	26,384	32,720	0	0	0		66,863	
トータルコスト(A)+(B)	千円	34,058	0	26,384	32,720	0	0	0		66,863	
活動指標	件	70	97	20	90						
対象指標	人	341	336	330	330						
	人	52536	53909	54518	54407						
成果指標	%	未把握	64.5	70	62.8						
	件	未把握	12160	13376	17788						
上位成果指標	%		50	60	51.3	80	100				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
合併に伴う、「新市建設計画」の基本施策「市民が主役、みんなで進めるまちづくり」の主な施策「市民参加のまちづくり」に行政評価システムの活用事業による事務・政策評価の実施があり、市長マニフェストとしての取組と併せ、新市になってから導入に向けた取り組みを始めた。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
・本事務事業は、19年度まで、「11038総合計画策定事業」に含んで取り組んでいたもので、総合計画策定事業が完了したので、平成20年度より継続事務事業としてシート作成に至ったもの。  
・平成12年4月の地方分権一括法の施行に伴い、自治体の行政運営が、中央官庁依存型から対等協力の下、自己決定、自己責任へ変化した。  
・国が進める三位一体の改革により、地方交付税等の減額による財政の悪化と併せ、情報公開を基本とした、住民との協働によるまちづくりが推進されるようになった。  
・20年度から続く景気後退で、税収が落ち込むことが予想され、より効率的な行政経営が求められるようになる。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
・平成18年第3回市議会定例会で、「行政評価は外部委託ではなく、自前ではできないのか」という一般質問があった。  
・平成19年第1回市議会定例会で、「行政評価システムの導入理由と他の自治体の導入状況と成果」について一般質問があった。  
・平成19年第2回市議会定例会及び平成20年第1回市議会定例会で、行政評価システムに関する一般質問があった。  
・平成20年第1回市議会定例会及び第4回市議会定例会、並びに、平成21年度第1回定例会で、行政評価システムに関する一般質問があった。

事務事業名	行政評価システム構築事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ <b>意図の「市が取り組んでいる事業の内容がわかる。」ことにより結果の「施策・事業の推進が計画的に実施されている」に結びつく。</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ <b>総合計画と連動した行政評価システムを構築し、効率的効果的な行政経営を推進することは、行財政改革の推進につながり妥当である。</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ <b>対象、意図とも現状で適切である。</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ <b>行政評価システムの構築事業については、平成20年度までの3ヶ年計画であり、所期の目的(総合計画と連動した行政評価システム構築)を達成したので、成果が満たされた。</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ <b>成果が満たされたので事務事業終了</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <b>成果が満たされたので事務事業終了</b>  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>成果が満たされたので事務事業終了</b>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>成果が満たされたので事務事業終了</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ <b>成果が満たされたので事務事業終了</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 20年度で事務事業を終了し、21年度から総合計画進行管理事業へ移行	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3   直結度中 4~6   直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	2	( 貢献度高い 1~3   貢献度中 4~9   貢献度低い 10~12 )